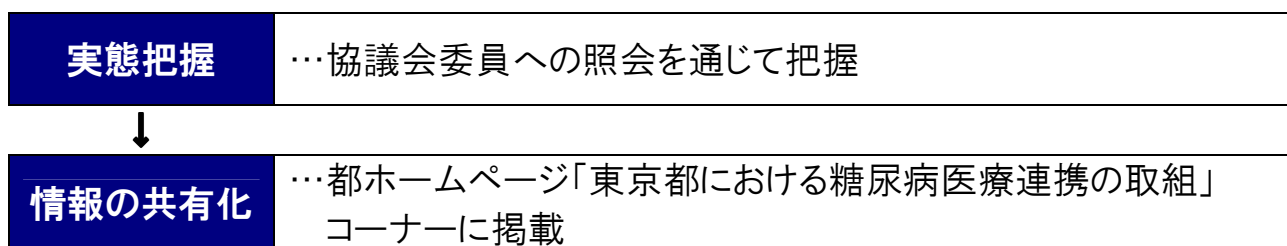


都内における糖尿病地域医療連携の 取組の把握と情報共有化について(部会案)

【経緯—第1回協議会での議論—】

- ◇糖尿病に関しては、医療連携に資するさまざまな取組が各地域で既に行われてきた。それらの取組を活かすかたちで、全都で糖尿病医療連携体制を整備していくべき。
- ◇そのためには、各地域における糖尿病医療連携の取組として、どのようなものがあるのか、その実態を把握し情報を共有化して、糖尿病治療の関係者全体で共通認識を作る必要がある。

【都内における糖尿病医療連携に資する取組の把握と情報共有方法(案)】



《実態把握》

◇把握ルート …協議会委員への照会を通じて把握

二次保健医療圏域代表	当該圏域における取組について把握分を回答
関係団体	各団体の各地区支部等を通じて把握 例)東京都医師会の場合 各地区医師会において把握している取組を集約して回答
患者団体	団体の保有情報として把握している分を回答
保険者団体	
都立病院代表	各都立病院での把握分を集約し回答
区市町村・都保健所	各区市町村等保健衛生部門での把握分を集約し回答
↓	
都事務局	重複分を整理し、各圏域別に集計

◇把握情報 …別紙「調査票(案)」項目のとおり

《情報の共有化》

各取組主体の承諾の得られたものについて、都ホームページ「東京都における糖尿病医療連携の取組」コーナーに掲載